

連携型入学者選抜 募集要項

1 出願資格

連携中学校であるむかわ町立鵡川中学校を令和8年（2026年）3月に卒業見込みの者（令和8年（2026年）1月以降に連携中学校に転入学した者を除く。）

2 募集人員

全日制課程普通科 80人

3 出願の受付

出願書類の受付期間及び受付時間は、次のとおりとする。

| 受付期間 | 受付時間 |
|---------------------------|---------------------------------|
| 令和8年1月19日（月）～令和8年1月22日（木） | 9:00～16:30 (22日は12:00までとする。) |

なお、ウェブ上の出願情報電子申請システム（以下「申請システム」という。）による出願者情報等のオンライン入力の受付期間は次のとおりとする。

| 受付期間 |
|---------------------------|
| 令和7年12月5日（金）～令和8年1月22日（木） |

4 出願の手続

(1) 出願書類の交付

連携中学校等の校長を通じて請求し、「中高一貫教育による学習のまとめ」用紙の交付を受けること。

(2) 出願書類の提出及び受付

入学願書（ウェブ申請用）（北海道立高等学校学則（昭和26年北海道教育委員会規則第8号）第15条の規定による入学願書（同規則別記第3号様式）の提出

出願者は、あらかじめウェブ上の申請システムにより、必要事項を入力・申請した上で、入学検定料として北海道立学校条例（昭和39年北海道条例第41号）に定める金額（2,200円分）の北海道収入証紙を入学願書に貼り付けて提出すること。

【留意事項】

ア 入学願書の作成

ウェブ申請に係る手続等の詳細については、別に定める「令和8年度道立高等学校入学者選抜出願手続（ウェブ申請・願書提出）マニュアル」を参照すること。

なお、入学願書（ウェブ申請用）と写真台紙・受検票は、それぞれA4用紙に片面で印刷し、写真台紙と受検票は切り離さないこと。

イ 入学願書の入力

（ア）「出願区分」で「連携型」を選択すること。

（イ）「出願学科」で、志望する学科名を選択すること。ただし、「第2志望」及び「第3志望」は、「一（第2志望なし）」及び「一（第3志望なし）」をそれぞれ選択すること。

(3) 連携中学校等の校長の手続

連携中学校等の校長を経由して北海道鵡川高等学校長に提出すること。

ア 入学願書

イ 写真台紙（ウェブ申請用）（一般要項の別記様式1による。）

出願前6か月以内に上半身を正面から撮影した写真のデータ（10MB以内）を申請システム上でアップロードする、又は出願前6か月以内に上半身を正面から撮影した写真（縦7cm・横5cm）を写真台紙に貼り付けること。

ウ 受検票（ウェブ申請用）（一般要項の別記様式1による。）

エ 中高一貫教育による学習のまとめ

本校所定の様式（様式1）※パワーポイントデータで提出。

- オ 作文
本校所定の様式（様式2）
カ 出願者一覧表（一般要項の別記様式2による。）

(4) 受検票の交付

受検票を当該連携中学校長を経由して出願者に交付する。交付期間は、令和8年（2026年）1月28日（木）までとする。

5 出願状況の発表

| 期日 | 時間 | 場所 |
|--------------|-------|-------------------|
| 令和8年1月26日（月） | 10:00 | 学力向上推進課 ウェブページ |

6 出願変更

連携型入学者選抜においては、出願変更は認めない。

7 面接等

出願者全員について「中高一貫教育による学習のまとめ」の発表及び個人面接を行う。
面接等の詳細は、北海道鶴川高等学校長から連絡する。

- (1) 面接等は令和8年（2026年）2月10日（火）に行う。
(2) 面接等の会場は、北海道鶴川高等学校とする。

8 合格内定者の通知及び入学の確約

- (1) 合格内定者に、令和8年（2026年）2月18日（水）までに当該連携中学校長を経由して合格内定通知書を交付する。
(2) 合格内定通知書の交付を受けた者は、入学確約書を、令和8年（2026年）2月19日（木）から2月24日（火）午後4時までの間に当該連携中学校長を経由して北海道鶴川高等学校長に提出すること。

9 合格内定者数の発表

| 期日 | 時間 | 場所 |
|--------------|-------|-------------------|
| 令和8年2月18日（水） | 10:00 | 学力向上推進課 ウェブページ |

10 再出願

- (1) 合格内定とならなかった者については、当初出願した課程・学科と関わりなく再出願を認めない。ただし、面接を欠席した者及び合格内定後入学確約書を提出しなかった者は再出願を認めない。

- (2) 再出願の受付期間及び受付時間は、次のとおりとする。

| 受付期間 | 受付時間 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 令和8年2月19日（木）～2月24日（火） | 9:00～16:30 (24日は16:00までとする。) |

- (3) 出願者の手続

再出願しようとする者は、再出願願（別記様式9）を中学校長を経由して、当初出願した高等学校長に提出する。

- (4) 受検票の交付

出願者に対し、令和8年（2026年）2月27日（金）までに受検票を交付する。

- (5) 再出願後の出願状況の発表

| 期日 | 時間 | 場所 |
|-------------|-------|-------------------|
| 令和8年3月2日（月） | 11:00 | 学力向上推進課 ウェブページ |

11 合 格 発 表

令和8年（2026年）3月17日（火）午前10時に合格者の受検番号を発表（本校ウェブページに掲載）するとともに、本人に通知する。

12 そ の 他

- (1) 「中高一貫教育による学習のまとめ」及び作文は、令和8年度（2026年度）連携型入学者選抜「中高一貫教育による学習のまとめ」及び作文作成要領（別紙）に基づき作成すること。
- (2) 不明な点がある場合は、当該連携中学校を通じて北海道鶴川高等学校へ問い合わせること。

令和8年度(2026年度)連携型入学者選抜
「中高一貫教育による学習のまとめ」作成・発表及び、「作文」作成要領

1 「中高一貫教育による学習のまとめ」

(1) 探究的な学びについてのまとめ資料の作成

ア テーマ

中学校の学習の中での探究的な学びについてまとめたもの

イ 作成上の留意事項

- ・Microsoft Power point 2016 を使用して作成すること。
- ・作成用のデータを配付する。(様式1) このテンプレートにタイトル、氏名を入力すること。
なお、フォントや画像、背景色等については自由に変更してよい。
- ・発表内容のシートの枚数は5～10枚とすること。(表紙含まない)
- ・3分以上5分以内で発表できる資料を作成すること。

ウ 提出方法

出願時にPower pointデータを提出する。

エ 発表資料の評価概要

- ・探究的な学びの内容の概要が分かるものとなっているか
- ・探究的な学びを通して自分に身に付けた資質・能力が明示されているか。
- ・情報源の信頼性に関わる情報源の記載、根拠となるデータやグラフ等が含まれているか。
- ・中学校における探究的な学びの内容を踏まえて課題点を明確に設定し、それに対する解決策が明示されているか。また、感想や推論等が記載され、説得力があるか。
- ・資料の内容が相手に理解されやすい工夫がなされているか。

(2) 探究的な学びについての発表

ア 発表内容

上記(1)で作成した資料をもとに、探究的な学びの内容と今後の取り組みたい、学びたい内容を発表(プレゼンテーション)する。

イ 発表時間

3分以上5分以内で発表を行うこと。発表後、いくつか質問を行う。

ウ 発表の評価概要

- ・相手に伝えようと発表方法を工夫しているか
- ・資料をただ読み上げるのではなく、言葉を補足しながら自分の考えを伝えようとしているか。
- ・発表時間が3分以上5分以内であるか。
- ・相手に聞こえる声でかつ正しい言葉遣いで発表しているか。
- ・質問に対して正しい言葉遣いで答えることができているか。
- ・中学校における探究的な学びの内容を踏まえて課題点を明確に設定し、それに対する解決策が述べられているか。また、感想や推論等に説得力があるか。

2 「作文」

(1) 作成用紙 本校所定の用紙又はテンプレートを用いて作成すること。(様式2)

(2) テーマ 「将来の夢」 ※「将来の夢」が未定の場合は「高校入学後の抱負」

(3) 字数 400字程度

(4) 作成上の留意点

- ・手書き、またはMicrosoft Word 2016 を使い作成すること。
- ・手書き用の用紙、及びデータを配布する。
- ・横書きとし、手書きの場合はボールペンを使用、Wordで作成の場合フォントはMS明朝、文字サイズは10.5とする。

(5) 提出方法 出願時に手書きの用紙、又はWordで入力し印刷した物のどちらかを提出する。

(6) 評価の概要

- ・「将来の夢(高校入学後の抱負)」が書かれており、且つ、具体例や理由が明確に書かれている。
- ・文字数が十分である。(360～440字程度)
- ・手書きの場合、丁寧な字で書かれているか。
- ・表現上、適切な言葉が使われているか。
- ・文体が統一されているか。
- ・書き言葉で書かれているか。
- ・段落分け等が正しくされているか。